



平成 26 年度 薬と健康の週間「薬と健康展」を終えて

平成 26 年 10 月 19 日（日）イトーヨーカ堂武蔵境店 正面入りロスペースにて、「薬と健康展」を開催しました。秋晴れの空の下、多数ご来場いただきありがとうございました。街頭相談所に立ち寄ってくださったのは 63 人、相談内容は、血圧の薬や睡眠薬・安定剤等の医薬品を続けてのんでいて大丈夫なのか、持病の治療はこのままで良いのか、一般用医薬品やジェネリック医薬品の選択、漢方薬、看病、介護など多岐にわたりました。内容別に集計すると全部で 181 件になりました。



今回の試みの目玉は、武蔵野市薬剤師会ロゴマーク入りのお薬手帳を作成、配布したことと健康チェックコーナーを開設したこととの 2 つです。



お薬手帳については、告知ポスターと市報で持参を呼びかけたこともあり、お薬手帳と一緒に確認しながらご相談をお受けしたケースがあり、お持ちでなくてもご自宅にあるという方が多く、お薬手帳が普及していることを実感できました。のみ合わせ等を確認する上でお薬手帳は役に立つ、ということをご説明してお配りしたことで私たち薬剤師の仕事を知っていただけたのではないかと思います。お薬手帳のロゴマークがかわいいという声もきかれ、好評だったようです。



健康チェックコーナーについては、例年の血圧測定に加え、骨の健康度測定器を設置しました。測定結果をみながら、生活の中で気を付けること、受診したほうがよいかなど、お薬以外の健康についても気軽に薬剤師に相談してくださったのは大変嬉しいことでした。30~40 人のご利用がありました。



また、東京都薬物乱用防止推進武蔵野市地区協議会のご協力により、薬物乱用防止啓発活動も行いました。



今回の「薬と健康展」は武蔵野市薬剤師会会員 18 名と武蔵野赤十字病院薬剤部の薬剤師 1 名で作りました。ご相談に適切に応えられたか検証し、次回に役立てたいと考えております。

この「薬と健康展」は薬剤師の姿、薬剤師という仕事を市民の皆様にご覧いただく、大変良い機会です。私ども薬剤師も「薬と健康展」をきっかけに、市民の皆様の健康な生活とそれを支える安心・安全な医薬品の使用を確保するために、より一層努力して参る所存です。



一般社団法人 武蔵野市薬剤師会

担当理事：田中敦子